

科目名 【英】	保健体育 Health and Physical Education			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単位	3
学年	3年生	学期	1.2 学期	曜日	水曜	時限	3 限

担当教員	浅田 雅之	実務者経験	1988 年日本体育大学卒業保健体育科の教員資格取得 1992 年アサダ接骨院・鍼灸院開業、2008 年デイサービス開業
------	-------	-------	---

学習内容	鍼灸師としてスポーツの現場でも活躍できるような知識、技術を学ぶ。
到達目標	アスレチックトレーナーとしての心得を理解し、スポーツ現場で慌てず的確な応急処置(R I C E やテーピング)が行え、世界で戦うトップアスリートからスポーツ愛好家までトレーニング指導やストレッチング、スポーツマッサージなどのコンディショニングからアフターケアまでトータルにボディケアの基礎を習得していく。

準備学習 時間外学習	
使用教材	配布資料
留意点 備考	毎週リポートの提出、採点し平常点とする。試験がいくらできても授業態度の悪い学生は再試験。 再試験評価：再試験 50% 平常点 40% 出席点 10%

成績評価	本試験 70% 平常点 30%
------	-----------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	■ 今年どのような授業をしていくのか？ ■ 自己紹介（自己アピール） ■ アスレチックトレーナーの現状、活動報告
2	コーディネーショントレーニング	■ 神経系の発達を促すトレーニングの基礎から実践
3	コーディネーショントレーニング	■ 運動神経はどのようにすればよくなるのか？
4	アイシング	■ アイシングとは？ ■ アイシングのやり方？
5	アイシング	■ いつまで冷やすのか？ ■ いつから温めるのか？
6	SAQ トレーニング	■ SAQ とは？ ラダー、ミニハードル、リアクションボールなどを用いて理論と実技
7	SAQ トレーニング	■ バランスボード、バランスパットバランスボールなどを用いて理論と実技
8	ホスピタリティ 接客サービス	■ アスレチックトレーナー（鍼灸師）の心得、マナー ■ CS（カスタマーサティスファクション）
9	臨床スポーツ医学	■ 代表的なスポーツ障害・外傷について
10	臨床スポーツ医学	■ 応急処置について【ラップ療法】
11	試験	試験
12		

2 学期 授業計画【内容・目標】

1	テーピング	■ テーピングの理論
2	テーピング	■ ホワイトテーピングの切り方、貼り方、はがし方
3	テーピング	■ 足関節のホワイトテーピングの1例実技
4	テーピング	■ ホワイトテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
5	テーピング	■ キネシオテーピングの足関節、指関節のテーピング実技
6	ストレッチング	■ 腰痛のストレッチング、肩こりのストレッチング (スタティック、パリスティック、ストレッチボール)
7	スポーツマッサージ	■ スポーツマッサージからリンパマッサージの理論と実技
8	スポーツ栄養学	■ 試合前には、どんなものを摂取すればよいのか？ カーボローディングなどの食事の方法
9	トレーニング実技	■ フットサルコートを利用してサッカーの練習とゲーム
10	試験	試験
11	試験	試験
12	スポーツ鍼灸実技	■ スポーツ鍼実技 (パルス通電で鍼の角度や深さ体感する)

科目名 【英】	マネジメント学 Office Management			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学年	3年生	学期	2学期	曜日	金曜	時限	1限

担当教員	柳野 隆生	実務者経験	～1970年 弁理士試験合格・関西大学法学部卒 1970年～1975年 大手化学会社・知財法務事務所勤務 1975年～国際知財法務事務所を開設し、知財法務・研究開発・ベンチャービジネス育成とトップ育成を融合した業務を行う。
------	-------	-------	---

学習内容	開業に向け、必要な知識を学ぶ。
到達目標	将来に向けて、自己のビジネスプランを作成する。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】なし 【配布資料】あり
留意点 備考	

成績評価	本試験（レポート）＋出席点
------	---------------

2学期 授業計画【内容・目標】		
1	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成①	独自性、ベンチャー、知の高度化、パイタリティ、専門化、知の連鎖、工夫・改善・開発等の要素の意味の学習
2	これからやらなければならないこととビジネスプランの作成②	ビジネスプラン作成方法について
3	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ①	国内外のベンチャービジネスの事例。オンリーワン志向となる病院では？ベンチマーク、複合技術等
4	参考になる他の業界の動き、ベンチャービジネスから学ぶ②	まとめ
5	開業に向けて	接遇マナー
6	開業に向けて	接遇マナー
7	開業に向けて	マーケティング
8	開業に向けて	患者さん対応
9	開業に向けて	介護現場
10	開業に向けて	介護現場
11	開業に向けて	保険診療
12	開業に向けて	まとめ

科目名 【英】	臨床医学総論② Clinical Medicine in General			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	1.3 学期：金曜 2 学期：木曜	時 限	1 学期：1 限 2 学期：3 限 3 学期：2 限

担当教員	高木 健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて 2 年間施術担当
------	-------	-------	---------------------

学習内容	現代医学的な観点からの診察学〔検査法・主な症状の診察法など〕・治療学・臨床心理を学ぶ。 鍼灸師に必要な項目のみならず、幅広く現代医学的鑑別診断による病態把握を学ぶ。
到達目標	症候から現代医学的な観点で鑑別診断ができる。臨床の場において実際に活用できるレベル、 かつはり師・きゅう師国家試験に対応できるレベルに到達する。

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学の予習が必要。臨床医学各論との関連を復習する。
使用教材	配布プリント「臨床医学総論」
留意点 備 考	副教材として解剖学・生理学の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	各学期に約 5 回小テスト実施。期末試験 80%＋小テスト 20%で評価。再試験は試験 100%、小テストは含まない。
------	---

授業計画【内容・目標】		
1	診断学 32	全身状態の診察 15【皮膚・粘膜・皮下組織 4】
2	診断学 33	全身状態の診察 16【皮膚・粘膜・皮下組織 5】
3	診断学 34	全身状態の診察 17【皮膚・粘膜・皮下組織 6】
4	診断学 35	全身状態の診察 18【皮膚・粘膜・皮下組織 7】
5	診断学 36	局所状態の診察 1【頭頸部 1】
6	診断学 37	局所状態の診察 2【頭頸部 2】
7	診断学 38	局所状態の診察 3【胸部・腹部】
8	診断学 39	局所状態の診察 4【直腸・肛門・外性器・背部】
9	診断学 40	局所状態の診察 5【四肢】
10	診断学 41	そのほかの診察【関節可動域・救急時・女性・小児・高齢者】 臨床検査 1【概要・尿検査 1】
11	試験	
12	試験解答・解説	試験の解答および解説

授業計画【内容・目標】

1	診断学 42	臨床検査 2【尿検査 2・糞便検査・血液検査】
2	診断学 43	臨床検査 3【血液生化学検査】
3	診断学 44	臨床検査 4【免疫学的検査】
4	診断学 44	臨床検査 4【自己抗体検査】
5	診断学 44	臨床検査 4【喀痰検査】
6	診断学 44	臨床検査 4【髄液検査】
7	診断学 44	臨床検査 4【関節液検査】
8	診断学 45	生命徴候の診察 1【体温】
9	診断学 46	生命徴候の診察 2【脈拍】
10	診断学 47	生命徴候の診察 3【血圧 1】
11	試験	試験
12	試験解答・解説	試験の解答および解説

授業計画【内容・目標】

1	診断学 48	生命徴候の診察 4【血圧 2】
2	診断学 49	生命徴候の診察 5【呼吸】
3	診断学 50	身体計測・神経系の診察 1【感覚系の診察 1】
4	診断学 51	神経系の診察 2【感覚系の診察 2】
5	診断学 52	神経系の診察 3【反射の診察】
6	診断学 53	神経系の診察 4【脳神経系の診察 1】
7	診断学 54	神経系の診察 4【脳神経系の診察 2】
8	診断学 54	神経系の診察 4【髄膜刺激症状の診察 1】
9	診断学 55	神経系の診察 5【運動機能の診察 2】
10	診断学 56	神経系の診察 6【運動機能の診察 2】
11	診断学 57	神経系の診察 7【運動機能の診察 3】
12	治療学 臨床心理	治療学 臨床心理

科目名 【英】	臨床医学各論③ Clinical Medicine Part			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単位	3
学年	3年生	学期	1.2 学期	曜日	1 学期：月曜 2 学期：木曜	時限	2 限

1 学期 担当教員	竹中 美樹	1 学期 実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014 年 8 月～2016 年 3 月）				
2 学期 担当教員	後藤 卓	2 学期 実務者経験	2001 年 4 月～2003 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう				

学習内容	臨床医学各論は各疾患の症状や検査などについて学ぶもので解剖学や生理学の基礎を基に各疾患について深く講義していく。						
到達目標	現代医学的な観点からの臨床医学を学ぶ。各疾患の概念、疫学、病因、病態生理、症状、診断、治療などを理解し、臨床の場において実際に活用できるレベル、かつ国家試験に対応できるレベルまでを学ぶことを目標とする。						

準備学習 時間外学習	1 年次、2 年次に学んだ解剖学・生理学の復習						
使用教材	【教科書】臨床医学各論 【配布資料】あり						
留意点 備考	なし						

成績評価	各学期に 4 回小テストを実施。期末試験 70%＋小テスト 30%で評価する。						
------	---	--	--	--	--	--	--

授業計画【内容・目標】		
1	血液疾患	赤血球疾患
2	血液疾患	白血球疾患
3	血液疾患	リンパ 出血性素因
4	肝胆膵疾患	肝疾患
5	肝胆膵疾患	胆道疾患
6	肝胆膵疾患	膵臓疾患
7	その他領域	皮膚科疾患
8	その他領域	眼科疾患
9	その他領域	婦人科疾患
10	復習	まとめ
11	試験	試験
12	試験解説	解説 復習

授業計画【内容・目標】

1	その他の領域①	一般外科〔損傷概論・ショック・救急処置・心肺蘇生術〕
2	その他の領域②	麻酔科〔全身麻酔〕 麻酔科〔局所麻酔〕
3	その他の領域④	精神科疾患〔神経症・統合失調症・うつ病・アルコール依存症〕 心療内科〔心身症・神経性食欲不振症・神経性過食症〕
4	循環器疾患①	心臓疾患〔心不全・心臓弁膜疾患〕
5	循環器疾患②	心臓疾患〔不整脈・その他〕冠動脈疾患〔狭心症・心筋梗塞〕
6	循環器疾患③	動脈疾患〔動脈硬化症・大動脈瘤・大動脈解離〕
7	循環器疾患④	血圧異常〔高血圧症・低血圧症〕
8	消化管疾患①	口腔疾患〔歯周病・顎関節症・その他の口腔疾患〕 食道疾患〔食道癌・食道炎・食道潰瘍・その他の食道疾患〕
9	消化管疾患②	胃・十二指腸疾患〔胃炎・胃十二指腸潰瘍・胃癌・その他の胃・十二指腸疾患〕
10	消化管疾患③	腸疾患〔急性腸炎・潰瘍性大腸炎・クローン病・ 過敏性腸症候群・虫垂炎・大腸癌・腸閉塞〕
11	テスト	
12	消化管疾患④	腸疾患〔その他の腸疾患〕 腹膜疾患〔急性腹膜炎・結核性腹膜炎・癌性腹膜炎〕

科目名 【英】	リハビリテーション医学② Rehabilitation Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	96	単 位	6
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	水曜	時 限	1 学期：1.2 限 2.3 学期：1 限

担当教員	中山 伸治	実務者経験	1985 年～大学病院、リハビリテーション専門病院にて急性期から慢性期の理学療法をおこない、整形外科的疾患・スポーツ障害の理学療法を専門とする
------	-------	-------	---

学習内容	各疾患の障害の特徴を把握し、リハビリテーション評価法、運動療法や物理療法などの治療法を習得する。 リハビリテーション医学で学んだ疾患別リハビリテーションを実践するために、実技を通じて必要な評価法と治療法の知識と技術を学んでいく。
到達目標	正しい知識を有し、適切なリハビリテーションを施行できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】リハビリテーション医学 第 3 版 【配布資料】あり
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 100%
------	----------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	脳卒中のリハビリテーション①	脳卒中の障害・合併症の評価
2	脳卒中のリハビリテーション②	脳卒中の急性期・回復期のリハビリテーションについて
3	脊髄損傷のリハビリテーション①	脊髄損傷の障害・合併症の評価
4	脊髄損傷のリハビリテーション②	脊髄損傷の急性期・回復期のリハビリテーションについて
5	切断のリハビリテーション	上肢・下肢切断後のリハビリテーションについて
6	小児のリハビリテーション①	脳性麻痺の定義と分類。 脳性麻痺による障害と随伴症状の評価
7	小児のリハビリテーション②	脳性麻痺のリスク管理とリハビリテーションについて
8	骨関節疾患のリハビリテーション①	五十肩の評価とリハビリテーションについて
9	骨関節疾患のリハビリテーション②	頸腕障害の評価とリハビリテーションについて
10	骨関節疾患のリハビリテーション③	腰痛の評価とリハビリテーションについて
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	障害の評価①	四肢周径の測定と関節可動域測定の実習
2	障害の評価②	徒手筋力テストの実習
3	体性機能不全	体性機能不全とは？体性機能不全の症状と評価について
4	姿勢について	良い姿勢とは？ 姿勢の静的・動的評価の実習
5	歩行について	歩行分析による異常歩行の分類と特徴について
6	ストレッチングの実習	ストレッチングの理論と正しいストレッチング指導のやり方を実習
7	関節機能不全に対するアプローチ	関節の凹凸の法則に基づいた基本的な関節アプローチ法の実習
8	筋膜に対するアプローチ（１）	マッスルエナジーテクニックの理論と実習（上肢）
9	筋膜に対するアプローチ（２）	マッスルエナジーテクニック（下肢）の実習
10	体幹トレーニング	コアコンディショニングとは？ トレーニング実習
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	骨関節疾患のリハビリテーション④	変形性膝関節症の評価とリハビリテーションについて
2	骨関節疾患のリハビリテーション⑤	変形性股関節症の評価とリハビリテーションについて
3	骨関節疾患のリハビリテーション⑥	大腿骨頸部骨折骨折の評価とリハビリテーションについて
4	骨関節疾患のリハビリテーション⑦	スポーツ障害の評価とリハビリテーションについて
5	骨関節疾患のリハビリテーション⑧	末梢神経麻痺の分類。障害の評価とリハビリテーションについて
6	骨関節疾患のリハビリテーション⑨	関節リウマチの評価とリハビリテーションについて
7	パーキンソン病のリハビリテーション	パーキンソン病とは？治療とリハビリテーションについて
8	呼吸・循環器のリハビリテーション①	呼吸器疾患の評価とリハビリテーションについて
9	呼吸・循環器のリハビリテーション②	心疾患の評価とリハビリテーションについて
10	高齢者のリハビリテーション	高齢者の特性とリハビリテーションについて
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	クライオセラピー①	クライオセラピー（寒冷療法）の理論について
2	クライセラピー②	急性期におけるクライオセラピーの有効性について
3	クライオセラピー③	クライオセラピー実習
4	温熱療法①	ホットパックの適応と治療方法について
5	温熱療法②	パラフィン浴の適応と治療法について
6	温熱療法③	極超短波（マイクロウェーブ）の適応と治療法について
7	水治療	部分浴と全身浴の適応と治療法について
8	光線療法	赤外線・紫外線・レーザー光線治療の適応について
9	電気治療	低周波治療の適応について
10	牽引療法	腰椎牽引・頸椎牽引の適応についれ
11	試験	試験
12	試験の解説・解答	リハビリテーション医学国司対策小テスト

科目名 【英】	東洋医学臨床論③ Clinical Oriental Medicine			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	1 学期	曜 日	火曜	時 限	1 限

担当教員	松本 葉	実務者経験	2013 年 3 月～2014 年 9 月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸治療を担当
------	------	-------	---

学習内容	症候・疾患に対して現代医学的・東洋医学的観点からの病態生理、治療方法、施術の適応判断を学ぶ。
到達目標	臨床において現代医学的・東洋医学的両方の観点から症候・疾患を分析し、治療方法を考える力を身につける。 国家試験合格に必要な知識を身につける。

準備学習 時間外学習	東洋医学的観点からの診断において、東洋医学概論の基礎知識の復習が必要となる。 現代医学的観点からの診断において、臨床医学各論、臨床医学総論の復習・関連付けが必要となる。
使用教材	教科書『東洋医学臨床論（はりきゅう編）』（東洋療法学校協会編） 配布資料・B5 ファイル
留 意 点 備 考	特になし

成績評価	小テストを実施、学期末試験 70%＋小テスト 30%で評価する。
------	----------------------------------

授業計画【内容・目標】		
1	スポーツ障害①	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
2	スポーツ障害②	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
3	スポーツ障害③	【上肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
4	スポーツ障害④	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
5	スポーツ障害⑤	【下肢】現代医学的病態把握・適応疾患・治療方針 東洋医学的考え方：分類・弁証など
6	高齢者医療	現代医学的病態把握
7	高齢者医療	現代医学的病態把握
8	高齢者医療	現代医学的病態把握
9	診察の記録・評価法	施術記録（SOAP分類）・痛みの評価
10	診察の記録・評価法	各種領域の評価法（耳鼻科・消化器科・婦人科・泌尿生殖器科・精神科・高齢者）
11	試験	試験
12	試験解説	

科目名 【英】	関係法規 【Legal Issues in Medicine】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	48	単 位	3
学 年	3 年生	学 期	1.2 学期	曜 日	1 学期：火曜 2 学期：木曜	時 限	1 学期 2 限 2 学期 1 限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）
------	-------	-------	--

学習内容	はり師・きゅう師の国家試験、開業に必要な法規を学ぶ。
到達目標	・ はり師・きゅう師国家試験問題に対応できるようになる。 ・ 開業時に必要な法律が理解できるようになる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】関係法規第 7 版
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 70% 平常点 30%
------	-----------------

授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	法規とは？ 評価方法説明
2	はり師・きゅう師に関する法律①	免許と試験
3	はり師・きゅう師に関する法律②	免許と試験
4	はり師・きゅう師に関する法律③	施術に関する注意 施術所に関する規則
5	はり師・きゅう師に関する法律④	名称制限・広告制限・罰金・罰則
6	法と実定法	法とは何か 法の種類
7	国試演習①	問題演習
8	国試演習②	問題演習
9	国試演習③	問題演習
10	国試演習③	問題演習
11	試験	試験
12	試験解説	

授業計画【内容・目標】

授業計画【内容・目標】		
1	医事法規と医療制度・医療法	病院・診療所・助産所について
2	国家試験願書下書き	願書練習
3	国家試験願書本番	願書本番
4	医療法	病院・診療所・助産所について
5	医師法 その他の医療従事者に関する法律 衛生関係法規	各医療従事者の法律 保健一般・予防衛生・環境衛生に関する法律
6	社会福祉関係法規 社会保険関係法規	福祉の7法 医療保障制度
7	国試演習①	問題演習
8	国試演習②	問題演習
9	国試演習③	問題演習
10	国試演習④	問題演習
11	試験	
12	試験解説	

科目名 【英】	はりきゅう実技⑨【臨床応用学Ⅰ】 Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	144	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	1 学期：木曜 2 学期：火曜 3 学期：木曜	時 限	1.3 学期：2.3 限 2 学期：1.2 限

1 学期 担当教員	山本 勝行	実務者経験	1981 年～ 山本鍼灸整骨院開院
--------------	-------	-------	-------------------

学習内容	各疾患での適応・不適応の鑑別に重要な各種検査法や効果的な治療点を把握する。
到達目標	習得した基本施術を応用して、臨床実習に活用できる技量を身につける。

準備学習 時間外学習	
使用教材	【教科書】ずっと使える鍼灸臨床マニュアル 【鍼】寸 6-2 番銀鍼
留 意 点 備 考	

成績評価	本試験 70% 平常点 15% 出席点 15%
------	-------------------------

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	1・2 年次の復習①	・ 上肢三陰三陽の取穴と刺鍼
2	鍼灸実技実習①	・ 下肢三陰三陽の取穴と刺鍼
3	鍼灸実技実習②	・ 項部・背部の取穴と刺鍼
4	鍼灸実技実習③	・ 肩部・腹部の取穴と刺鍼
5	運動器系疾患①	・ ミソ灸
6	運動器系疾患②	・ 灸頭鍼
7	運動器系疾患③	・ 小児鍼 梅花鍼 吸角療法
8	運動器系疾患④	・ 頸肩腕症候群について（頸椎ヘルニア・五十肩・胸郭出口）
9	運動器系疾患⑤	・ 腰下肢（ヘルニア 狭窄症 神経痛）
10	試験	試験
11	試験	試験
12	まとめ	

2 学期 担当教員	柳岡 比登美	実務者経験	1999 年免許取得、病院リハビリ科勤務・在宅訪問治療院勤務・鍼灸整骨院勤務を経て開業。主に女性や高齢者に特化した臨床経験が豊富です。
--------------	--------	-------	---

学習内容	現代医学的な鍼灸治療に必要な基礎知識を修得し、適切で安全な鍼灸治療方法を学習します
到達目標	臨床に向け治療の適不適の判断・刺鍼角度・安全深度道具の選び方・ベッドサイドでの姿勢を習得すること

準備学習 時間外学習	解剖学・生理学・はりきゅう理論など座学で得た基礎知識の復習をお願いいたします
使用教材	随時資料配布いたします
留意点 備考	白衣、使用道具の準備・手指の衛生

成績評価	実技試験(100%)の結果に授業 1 コマ欠席(-2.5 点)を加算し、成績評価とします
------	--

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	シラバスを用いたガイダンスと手技確認テスト
2	基本刺鍼	道具の選び方と公衆衛生の意識付け
3	基本刺鍼演習 1	頭痛 ・ 肩こりに対する鍼治療（肩井穴の刺鍼法）
4	基本刺鍼演習 2	頭痛 ・ 肩こりに対する鍼治療（大後頭神経・小後頭神経刺鍼）
5	基本刺鍼演習 3	腰下肢痛に対する鍼治療（椎間関節部、志室穴刺鍼）
6	基本刺鍼演習 4	腰下肢痛に対する鍼治療（上殿皮神経刺鍼）
7	基本刺鍼演習 5	坐骨神経に対する鍼治療（坐骨神経点、委中穴、足根管）
8	基本刺鍼演習 6	膝関節周囲の鍼治療（縫工筋アプローチ、鷲足、オスグッド）
9	基本刺鍼演習 7	肩関節周囲の鍼治療（QLS、大円筋・小円筋アプローチ）
10	試験	試験
11	試験	試験
12	基本刺鍼実践	手技のフィードバック・手技のフォローアップ

3 学期 担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）
--------------	-------	-------	--

学習内容	現代医学的な鍼灸治療
到達目標	就職時に患者さんの対応を出来るようにする

準備学習 時間外学習	
使用教材	プリント
留 意 点 備 考	白衣、使用道具の準備・手指の衛生

成績評価	本試験 100%
------	----------

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	シラバスを用いたガイダンスと手技確認テスト
2	心構え	患者対応 治療院での振る舞い
3	基本刺鍼演習 1	頭痛 ・ 肩こり
4	基本刺鍼演習 2	腰痛
5	基本刺鍼演習 3	下肢痛
6	基本刺鍼演習 4	上肢痛
7	基本刺鍼演習 5	シンスプリント
8	基本刺鍼演習 6	眼精疲労
9	基本刺鍼演習 7	ばね指
10	試験	試験
11	試験	試験
12	基本刺鍼実践	復習

科目名 【英】	はりきゅう実技⑩～中医診断治療学Ⅲ～ Practice of Acupuncture and Moxibustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	72	単 位	2
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	月曜	時 限	1,2 学期：1 限 3 学期：2 限

担当教員	副田 恵子	実務者経験	1999 年 4 月～鍼灸院を開院 鍼灸院及び往診にて鍼灸施術をおこなう
------	-------	-------	---

学習内容	実際の臨床で使う経絡経穴を使用し、手技の応用や体表観察の技術を疾患ごとに身につける。
到達目標	1、2 年生で習得した手技を発展させ、臨床に生きる治療技術の習得を目標とする。

準備学習 時間外学習	各疾患の東洋医学的理解の復習
使用教材	鍼灸道具 配布プリント
留 意 点 備 考	副教材として経絡経穴概論の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	毎授業に小テストを実施。期末試験 80%程度＋小テスト 20%程度で評価する。
------	---

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	頸肩腕痛①	2 年時で学んだ手技の理解と確認。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
2	頸肩腕痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
3	顔面痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
4	顔面痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
5	肩関節痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
6	肩関節痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
7	腰下肢痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
8	腰下肢痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
9	試験	試験
10	試験	試験
11	脱毛症①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80%の内容理解到達を目標とする。
12		

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	眩暈①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
2	眩暈②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
3	顔面麻痺①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
4	顔面麻痺②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
5	便秘・下痢①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
6	便秘・下痢②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
7	歯痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
8	歯痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
9	試験	試験
10	試験	試験
11	眼精疲労①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
12	復習	

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	鼻閉鼻汁①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
2	鼻閉鼻汁②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
3	耳鳴り・難聴①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
4	耳鳴り・難聴②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
5	胸痛①	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
6	胸痛②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
7	試験	試験
8	試験	試験
9	呼吸困難①②	東洋医学的病因病機の知識を理解し、臨床で通じる手技を身につける。 小テストで 80% の内容理解到達を目標とする。
10	復習	
11	復習	
12	復習	

科目名 【英】	はりきゅう実技⑪【臨床応用学Ⅲ】 Practice of Acupuncture and Moxbustion			必修/選択	必修	授業形式	実習
				総時間数	48	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	2.3 学期	曜 日	2 学期：水曜 3 学期：火曜	時 限	2 限

担当教員	田邊 健三	実務者経験	臨床経験 30 年以上 講師歴 20 年以上
担当教員	柳岡 比登美	実務者経験	1999 年免許取得、病院リハビリ科勤務・在宅訪問治療院勤務・鍼灸整骨院勤務を経て開業。主に女性や高齢者に特化した臨床経験が豊富です。

学習内容	2 学期：疾患の鑑別や治療法の習熟と技量の向上を図る。 3 学期：近年、新たに登場した分野である「美容鍼」の基本的知識と手技および婦人科疾患の関わりも含め身体のとータルケアを目指すことができるよう、現代医学的な治療理論や科学的情報の活用を学びます。
到達目標	2 学期：臨床の現場を想定した実技の習得を目標とする。 3 学期：①「美容鍼」に必要な基礎知識を修得することができること ②臨床現場で活用ができることを目標とします。

準備学習 時間外学習	3 学期：消毒・押手・切皮・抜鍼など刺鍼に関する基礎動作を各自再確認するようお願いいたします。
使用教材	2 学期：【教科書】鍼灸臨床マニュアル 3 学期：授業前に資料プリントを配布いたします。自立する手鏡の持参をお願いいたします。
留意点 備 考	3 学期：衛生管理には特に注意してください。

成績評価	2 学期：本試験 100% 3 学期：期末実技試験(100%)の結果に授業 1 コマ欠席(-5 点)を加算し、成績評価とします。
------	---

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	1.2 年の復習	・ 前頸部への刺鍼について ・ 前頸部・前胸部の経穴への刺鍼方法
2	歯痛の治療	・ 概要について ・ 遠隔および局所治療の方法
3	肩こりの治療	・ 訴えの部位と経絡について ・ 局所治療の方法
4	顔面神経麻痺の治療	・ 中枢性と末梢性の鑑別と治療法
5	更年期障害の治療	・ 概要について ・ 刺鍼と施灸の方法
6	肋間神経痛の治療	・ 概要について ・ 刺鍼および皮内鍼と施灸の方法
7	排便障害の治療	・ 便秘症について ・ 刺鍼と施灸の方法
8	冷え症の治療	・ 刺鍼と施灸部位について
9	月経不順の治療	・ 概要について ・ 刺鍼と施灸の方法
10	試験	試験
11	試験	試験
12	メニエール症候群	・ 症候診断および治療法と実技指導

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	美容鍼灸理論/実技	美容鍼の認知と今後の展望/道具の選び方と基本刺鍼
2	美容鍼灸理論/実技	現代の主な美容医療と鍼灸の併用/主要経穴への刺鍼
3	美容鍼灸理論/実技	皮膚の解剖生理の復習/主要経穴への刺鍼
4	美容鍼灸理論/実技	シワ・たるみの原因と美容鍼の効果/頭鍼の基礎
5	美容鍼灸理論/実技	美容鍼灸の効果(皮膚・筋肉・全身)/通電の基礎と筋アプローチ
6	美容鍼灸理論/実技	内出血のマネジメント(刺鍼による有害事象)
7	美容鍼灸実技	同意書とカウンセリング・施術立案
8	美容鍼灸実技	クライアントの評価とクロージング・アフターフォロー
9	試験前復習	3 学期に学んだ内容を説明できる 3 学期で学んだ内容を実践できる
10	試験	試験
11	試験	試験
12	美容鍼灸実践	同意書→カウンセリング→施術立案→施術→クロージング→カルテ

科目名 【英】	臨床実習② 【Clinical Education】			必修/選択	必修	授業形式	臨床実習
				総時間数	136	単位	3
学年	3年生	学期	通年	曜日	火・金曜	時限	3.4限

担当教員	丸茂 美保子	実務者経験	1992年～2004年 鍼灸院、整形外科に所属 2004年～2014年 教員養成・専門学校専任教員 2014年開業
担当教員	村上 朱保	実務者経験	臨床検査技師、はり師きゅう師の国家資格、進級教員免許を保有 臨床検査技師として病院にて10年9か月 鍼灸師として7年間の臨床経験あり 中国の大学病院において中医師インターンとして5年間の実務経験あり 2015年～鍼灸専門学校にて講義・実習を担当

学習内容	学内臨床施設にて学生や学外の患者への対応を実習担当教員の監視の下、実習をおこなう。
到達目標	臨床現場にて、医療面接から得た情報をもとに治療の方針を計画し、実施できる。

準備学習 時間外学習	3年次までに学んだ事柄をまとめておく。
使用教材	鍼灸施術用具
留意点 備考	・基本的には100%出席にて評価対象となる。 ・担当教員の指導に従う。

成績評価	出席評価+レポート評価【100%】
------	-------------------

1学期 授業計画【内容・目標】		
1	オリエンテーション	臨床実習についてのオリエンテーション カルテ記載の方法など
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

2 学期 授業計画【内容・目標】

1	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

3 学期 授業計画【内容・目標】

1	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
2	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
3	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
4	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
5	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
6	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
7	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
8	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
9	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
10	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
11	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習
12	臨床実習	来院された方への施術 学生同士での施術、面接練習

科目名 【英】	総合領域① 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単 位	4
学 年	3 年生	学 期	通 年	曜 日	1 学期：木曜 2 学期：月曜 3 学期：火曜	時 限	1,3 学期 1 限 2 学期 2 限

1 学期 担当教員	藤原 法香	1 学期 実務者経験	2017 年 4 月～2018 年 10 月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸整骨院にて鍼灸施術をおこなう。				
2,3 学期 担当教員	山口 隆平	2,3 学期 実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成 16 年 4 月～平成 17 年 10 月）				

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留意点 備考							

成績評価	1.3 学期：平常点【小テスト】にて評価【100%】 2 学期：定期試験+小テストにて評価						
------	---	--	--	--	--	--	--

1 学期 授業計画【内容・目標】		
1	衛生学・公衆衛生学 ①	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
2	衛生学・公衆衛生学 ②	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
3	衛生学・公衆衛生学 ③	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
4	衛生学・公衆衛生学 ④	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
5	衛生学・公衆衛生学 ⑤	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
6	衛生学・公衆衛生学 ⑥	国家試験対策 国家試験に出題される衛生学・公衆衛生学の範囲の言葉を想起できる。
7	病理学①	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
8	病理学②	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
9	病理学③	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
10	病理学④	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
11	病理学⑤	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。
12	病理学⑥	国家試験対策 国家試験に出題される病理学の範囲の言葉を想起できる。

2 学期 授業計画【内容・目標】		
1	肝臓・胆のう・膵臓	解剖・生理について説明できる。
2	肝臓・胆のう・膵臓	疾患について想起できる。
3	腎臓・泌尿器	解剖・生理について説明できる。
4	腎臓・泌尿器	解剖・生理について説明できる。
5	腎臓・泌尿器	疾患について想起できる。
6	消化器	解剖・生理について説明できる。
7	消化器	解剖・生理について説明できる。
8	消化器	疾患について想起できる。
9	膠原病	典型 6 疾患を列挙できる。
10	膠原病	疾患について想起できる。
11	生殖器	男性生殖器について説明できる。
12	生殖器	女性生殖器について説明できる。

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	婦人科疾患	子宮頸癌～子宮内膜症について説明できる。
2	眼科疾患	解剖の言葉を列挙できる。 疾患について想起できる。
3	内分泌	解剖・生理について説明できる。
4	内分泌	生理について説明できる。
5	内分泌	疾患について想起できる。
6	呼吸器疾患	閉塞性呼吸器疾患について説明できる。
7	呼吸器疾患	拘束性呼吸器疾患について説明できる。
8	病理学	総まとめ
9	病理学	総まとめ
10	病理学	総まとめ
11	血液疾患	貧血
12	血液疾患	白血病・紫斑病・血友病

科目名 【英】	総合領域② 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	72	単位	4
学年	3年生	学期	通年	曜日	1学期：金曜 2学期：金曜 3学期：月曜	時限	1学期：2限 2学期：2限 3学期：3限

担当教員	高木 健之	実務者経験	専門学校臨床施設にて2年間施術担当				
担当教員	松本 菜	実務者経験	2013年3月～2014年9月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸治療を担当				

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留意点 備考							

成績評価	1.2学期：平常点【小テスト】にて評価【100%】3学期：本試【70%】+小テスト【30%】						
------	--	--	--	--	--	--	--

1学期 授業計画【内容・目標】		
1	国家試験対策①	衛生学・公衆衛生学の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	解剖学の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	解剖学の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	解剖学の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	生理学の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	生理学の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	病理学の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	臨床医学総論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	臨床医学総論の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	臨床医学各論の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	臨床医学各論の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	臨床医学各論の言葉を列挙できる

2 学期 授業計画【内容・目標】

1	国家試験対策①	東洋医学概論の言葉を列挙できる
2	国家試験対策②	東洋医学概論の言葉を列挙できる
3	国家試験対策③	東洋医学概論の言葉を列挙できる
4	国家試験対策④	東洋医学概論の言葉を列挙できる
5	国家試験対策⑤	東洋医学概論の言葉を列挙できる
6	国家試験対策⑥	東洋医学概論の言葉を列挙できる
7	国家試験対策⑦	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
8	国家試験対策⑧	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
9	国家試験対策⑨	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
10	国家試験対策⑩	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
11	国家試験対策⑪	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる
12	国家試験対策⑫	東洋医学臨床論の言葉を列挙できる

3 学期 授業計画【内容・目標】

1	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
2	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
3	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
4	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
5	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
6	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
7	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
8	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
9	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
10	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
11	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。
12	東洋医学臨床論	国家試験対策 国家試験に出題される東洋医学系の範囲の言葉を想起できる。

科目名 【英】	総合領域③ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	3 学期	曜 日	木曜	時 限	1 限

担当教員	後藤 卓	実務者経験	2001 年 4 月～2003 年 3 月 鍼灸院に所属 鍼灸院にて鍼灸施術をおこなう				
------	------	-------	--	--	--	--	--

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留 意 点 備 考							

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】						
------	---------------------	--	--	--	--	--	--

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	消化器系の解剖生理学	口腔・咽頭・食道・胃・小腸・大腸の解剖生理学について説明できる。
2	消化器系の解剖生理学	肝臓・胆嚢・膵臓の解剖生理学について説明できる。
3	消化器系疾患 1	口腔疾患・食道疾患、胃・十二指腸疾患について説明できる。
4	消化器系疾患 2	腸疾患、肝臓疾患・胆道疾患・膵臓疾患について説明できる。
5	麻酔科 1	全身麻酔の種類と方法・特徴について説明できる。
6	麻酔科 2	脊髄くも膜下麻酔・硬膜外麻酔・表面麻酔・浸潤麻酔について説明できる。
7	麻酔科 3	伝達麻酔（神経ブロック）について説明できる。
8	一般外科	熱傷・凍傷と凍瘡・ショック、救急処置・心肺蘇生術について説明できる。
9	はりきゅう理論	毫鍼の各部の名称・鍼の太さと長さの基準・鍼先の形状と特徴・ 鍼の材質と特徴・鍼管の材質と特徴・古代九鍼について説明できる。
10	はりきゅう理論	刺鍼の方式・刺鍼の術式・刺鍼中の手技・特殊鍼法・灸法の種類について説明できる。
11	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論について説明できる。
12	はりきゅう理論	鍼灸の治効理論・関連学説について説明できる。

科目名 【英】	総合領域④ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単 位	1
学 年	3 年生	学 期	3 学期	曜 日	水曜	時 限	2 限

担当教員	藤原 法香	実務者経験	2017 年 4 月～2018 年 10 月 鍼灸整骨院に所属 鍼灸整骨院にて鍼灸施術をおこなう。
------	-------	-------	--

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2 年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留 意 点 備 考	

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】
------	---------------------

3 学期 授業計画【内容・目標】		
1	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
2	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
3	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
4	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
5	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
6	生理学	生理学の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される生理学の内容を説明できる。
7	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
8	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
9	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
10	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
11	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。
12	臨床医学各論	臨床医学各論の言葉を列挙できる。 国家試験に出題される臨床医学各論の内容を説明できる。

科目名 【英】	総合領域⑤ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学年	3年生	学期	3学期	曜日	金曜	時限	1限

担当教員	竹中 美樹	実務者経験	辻野夢鍼灸院（2014年8月～2016年3月）				
担当教員	山本 岳	実務者経験	学校附属診療所にて3年間勤務				

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。						
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。						

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。						
使用教材	配布資料あり						
留意点 備考							

成績評価	平常点【小テスト】にて評価【100%】						
------	---------------------	--	--	--	--	--	--

3学期 授業計画【内容・目標】		
1	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
2	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
3	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
4	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
5	解剖学	筋骨格系の解剖の言葉を列挙できる。
6	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
7	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
8	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
9	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
10	臨床医学各論	整形外科分野の疾患を想起できる。 整形外科分野の疾患について説明できる。
11	リハビリテーション 医学	国家試験に出題される範囲のリハビリテーション医学の言葉を列挙できる。
12	リハビリテーション 医学	国家試験に出題される範囲のリハビリテーション医学の言葉を列挙できる。

科目名 【英】	総合領域⑥ 【Synthetic Education】			必修/選択	必修	授業形式	講義
				総時間数	24	単位	1
学年	3年生	学期	3学期	曜日	月曜	時限	1限

担当教員	山口 隆平	実務者経験	野々村整形外科クリニック（平成16年4月～平成17年10月）
------	-------	-------	--------------------------------

学習内容	はり師・きゅう師国家試験に準じた内容の学習をおこなう。
到達目標	国家試験に合格できる程度の学力をつける。

準備学習 時間外学習	1.2年生で学習した内容を復習しておく。
使用教材	配布資料あり
留意点 備考	

成績評価	小テストにて評価【100%】
------	----------------

3学期 授業計画【内容・目標】		
1	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
2	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
3	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
4	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
5	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
6	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
7	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
8	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
9	各論 生理	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
10	法規 衛生 医概	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
11	法規 衛生 医概	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる
12	法規 衛生 医概	国家試験出題分野の確認 国家試験に対応できるようになる